

キハ40形2000番代首都圏色

SCALE
1/80
GAUGE
16.5mm



写真:宇都宮 照信

※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

◆実車ガイド

- キハ40系は、当時老朽化していたキハ10系ディーゼルカーなどの後継車として国鉄が開発した一般形ディーゼルカーで、1977年に登場しました
- それまでの一般形ディーゼルカー異なる、裾を絞った大型の車体を採用するなど、居住性の向上が図られました
- 単行でも運用可能な両運転台と片運転台の車両が用意され、片運転台にはトイレの有無による違いがありました
- 各地域向けとして、北海道の酷寒地向けや東北などの寒地向け、温暖な地域用の暖地向けを含め、様々な仕様が製造されました
- 全国各地の非電化路線を中心に総数888両が活躍しました
- キハ40系は製造当初より朱色5号1色塗装の首都圏色と呼ばれる姿で登場しました
- キハ40形2000番代は両運転台の暖地向け車両で、側面の窓は2段上昇式のサッシ窓を採用し、西日本を中心に一部は関東や東北でも運用されました
- 現在は数を減らすも、塗装変更や更新工事など姿を変えながら各地のローカル線や一部は私鉄にも譲渡され、活躍を続けています

【文責:トミーテック】

◆ここがポイント

POINT:1

タイフオンは付属の別パーツで、シャッター形またはスリット形の選択取付可能

POINT:2

ジャンパ栓準備部分は実車においてフタで塞がれた状態で再現



POINT:3

屋根上の水タンクは新規パーツ取付済み

POINT:4

実車において2段上昇式のサッシ窓を車体新規製作を再現

写真は実車でイメージです 実際の製品とは異なる場合があります

◆製品化特徴

＜共通＞

- キハ40形2000番代の特徴である、2段上昇式サッシ窓の姿を、ボディや窓ガラスを新規製作で再現
- キハ40系が登場時に搭載していた、オリジナルのDMF15エンジンなど、床下を新規製作で再現
- キハ40形2000番代を登場時の朱色5号1色塗装の首都圏色で再現
- Hゴムはグレーで再現
- 前面のジャンパ栓表現は、ホースまたは栓受けを選択取付可能
- 前面のタイフオンは付属の別パーツで、シャッター形またはスリット形のどちらか選択取付可能
- 前面表示部は交換式で、印刷済みパーツ「普通(紺地)・快速」を付属
- 側面表示灯はクリアパーツで取付済み
- 一部表記類は印刷済み
- 車番・検査表記・所属表記は選択式で転写シート付属
- ヘッド・テールライト、前面表示部はON-OFFスイッチ付
- ヘッドライトは電球色LED、テールライトは赤色LED、前面表示部は白色LEDによる点灯
- 後方時の運転室内が点灯する運転室室内灯装備
- 運転室室内灯はスイッチの切り替えにより、運転台が中間に入った時のヘッド・テールライト非点灯時でも点灯している状態に再現可能
- 密自連形TNカブラー標準装備
- 最小半径R490通過可能(S字形の線形を除く)

＜HO-422＞について

- フライホイール付モーターを搭載したモーター車仕様
- キャノン製モーター採用

＜HO-423＞について

- ＜HO-422＞のトレーラー仕様

●並べて楽しめる商品●



485系初期型

＜別売りオプション＞

室内灯:＜0795＞E白色

■セット内容・編成例

●水郡線(1980年頃)



キハ40(M)

キハ40(T)

単<HO-422>

単<HO-423>

品番	HO-422	品名	国鉄ディーゼルカー キハ402000形(M)	セット両数	1両
発売月	2023年3月	JANコード	4543736964223	予価	¥29,370 (税込)
原産地	韓国	パッケージサイズ	320×90×60mm	パッケージ形態	紙箱
品番	HO-423	品名	国鉄ディーゼルカー キハ402000形(T)	セット両数	1両
発売月	2023年3月	JANコード	4543736964230	予価	¥17,270 (税込)
原産地	韓国	パッケージサイズ	320×90×60mm	パッケージ形態	紙箱

JR東日本商品化許諾済 JR東海承認済 JR西日本商品化許諾済 JR四国承認済 JR九州承認済